

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年1月29日

上場会社名 有機合成薬品工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4531 URL <http://www.yuki-gosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田 紘行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 鷲崎 英博

TEL 03-3664-3980

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	6,729	△17.2	△267	—	△308	—	△460	—
21年3月期第3四半期	8,122	—	178	—	93	—	19	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△21.07	—
21年3月期第3四半期	0.89	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	17,030	8,841	51.9	404.42
21年3月期	17,094	9,371	54.8	428.61

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 8,841百万円 21年3月期 9,371百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	2.00	2.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成22年3月期の期末配当金につきましては、現時点では未定であります。

## 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,650	△7.3	△170	—	△230	—	△400	—	△18.30

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 21,974,000株 21年3月期 21,974,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 111,417株 21年3月期 108,062株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年3月期第3四半期 21,863,459株 21年3月期第3四半期 21,877,755株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 通期業績の予想については、平成21年10月30日発表の業績予想を修正しております。詳細については、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照願います。

2. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の数値は、様々な要因により、上記数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策や中国をはじめとするアジア向輸出の下支えにより、世界的な不況からの回復局面にあります。回復の水準は依然低く力強さを欠いており、先行きの景気失速が懸念されています。

化学工業におきましても、需要回復の足どりは重く、製品価格も低迷しているところへ急激な円高による輸出収益の減少も加わるなど、大変厳しい状況で推移しました。

このような状況の中で、当社は全力を挙げた営業活動を展開するとともに、更なる経費削減や生産性の向上に向けた諸施策等を実施いたしました。売上高、利益面ともに前年同期に比べ大幅に減少する結果となりました。

当第3四半期累計期間の売上高は6,729百万円となり、前年同期に比べ1,393百万円減と大幅に減少いたしました。減収の主な要因といたしましては、医薬品関係および食品添加物関係部門における主力製品であるアミノ酸およびビタミン原料の輸出売上高の減少、ならびに工業薬品その他部門における特殊触媒の売上高の減少などによるものであります。また、たばこの香料および同材料関係の売上高は、大部分を占める日本たばこ産業グループ向けの販売が昨年3月末終了したことに伴い、工業薬品その他部門に含めております。

利益面におきましては、製造コストダウンをはじめ全社的な経費削減等の取り組みを実施いたしました。売上高の大幅減に伴い、営業損失は267百万円（前年同期は営業利益178百万円）、経常損失は308百万円（前年同期は経常利益93百万円）、四半期純損失460百万円（前年同期は四半期純利益19百万円）という大変厳しい結果となりました。

部門別売上高の内訳

	平成21年3月期 第3四半期累計期間		平成22年3月期 第3四半期累計期間		(参考) 平成21年3月期通期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
たばこの香料および同材料関係	351	4.3	—	—	391	3.8
医薬品関係	2,747	33.8	2,379	35.3	3,948	37.9
食品添加物関係	1,694	20.9	1,322	19.7	2,063	19.8
工業薬品その他	3,329	41.0	3,026	45.0	4,007	38.5
合計	8,122	100.0	6,729	100.0	10,411	100.0

(注) 1 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2 たばこの香料および同原材料関係については、当第1四半期累計期間から工業薬品その他に含めて表示しております。（当第3四半期累計期間実績 金額30百万円 構成比0.4%）

## 2. 財政状態に関する定性的情報

### (1) 財政状態の分析

当第3四半期会計期間末における各貸借対照表項目の増減要因は、つぎのとおりであります。

#### (流動資産)

当第3四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末から523百万円増加し、7,607百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、製品の増加と原材料の減少によるものであります。

#### (固定資産)

当第3四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末から588百万円減少し、9,422百万円となりました。これは主に、長期性預金の減少、機械及び装置の減価償却による減少によるものであります。

#### (流動負債)

当第3四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末から1,492百万円増加し、5,003百万円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金の増加によるものであります。

#### (固定負債)

当第3四半期末の固定負債は、前事業年度末から1,026百万円減少し、3,185百万円となりました。これは主に、長期借入金を流動負債の1年内返済予定の長期借入金に振り替えたものであります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末から530百万円減少し、8,841百万円となりました。これは主に、配当金の支払と四半期純損失計上による利益剰余金の減少によるものであります。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は323百万円となり前事業年度末に比べ152百万円増加いたしました。

当第3四半期会計期間末におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により減少した資金は132百万円(前年同期は546百万円の増加)となりました。これは主に、減価償却費674百万円等による資金の増加と、税引前四半期純損失333百万円、売上債権の増加428百万円等による資金の減少との差額によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は112百万円(前年同期は329百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出300百万円等と、定期預金の純減額230百万円等との差額によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増加した資金は399百万円(前年同期は71百万円の減少)となりました。これは主に、短期借入による純増額440百万円によるものであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

今後の経済見通しにつきましては、依然として不安定な要因を抱えたグローバル経済のもとで、本格的な景気回復にはなお曲折が予想され、企業を取り巻く事業環境は引き続き厳しい見通しです。

このような情勢の中、当社は全力を挙げて業績改善と利益確保を図るとともに、将来の成長分野を見据え、引き続き諸施策の実施に取り組んでまいります。

現時点における当社の平成22年3月期通期の業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の実績に加え、第4四半期の業績も引き続き厳しい状況下で推移する見込であることから、平成21年10月30日に発表いたしました業績予想を下記の通り修正しております。

(通期業績予想)

売上高	9,650百万円
営業損失	170百万円
経常損失	230百万円
当期純損失	400百万円

なお、通期業績予想については、平成21年10月30日発表の業績予想を修正しております。詳細については、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照願います。

### 4. その他

#### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

##### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### ③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関して、四半期会計期間に係る法人税等については、四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(累計期間)に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて四半期会計期間に係る法人税等を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等に著しい変化が認められましたので、前事業年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(四半期貸借対照表)

前第3四半期会計期間末において流動負債の「その他」に含めて表示しておりました「1年内返済予定の長期借入金」(前第3四半期会計期間末236,000千円)は、重要性が増したため当第3四半期会計期間末においては独立掲記することとしました。

(四半期キャッシュ・フロー計算書)

前第3四半期累計期間において独立掲記しておりました「社債発行費」(当第3四半期累計期間7,020千円)は、金額の重要性が乏しくなったため、営業活動によるキャッシュ・フローの「雑損失」に含めて表示しております。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	543,834	420,957
受取手形及び売掛金	2,984,872	2,556,087
製品	2,506,758	2,281,308
仕掛品	709,713	702,711
原材料	663,619	744,483
その他	199,449	379,106
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	7,607,948	7,084,354
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,728,514	1,816,231
機械及び装置(純額)	1,723,092	1,986,329
土地	3,151,953	3,198,523
その他(純額)	764,777	779,068
有形固定資産合計	7,368,337	7,780,152
無形固定資産		
	128,477	74,952
投資その他の資産		
投資有価証券	1,309,834	1,290,084
その他	615,775	865,342
投資その他の資産合計	1,925,610	2,155,426
固定資産合計	9,422,425	10,010,532
資産合計	17,030,373	17,094,887
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,561,418	1,477,109
短期借入金	1,500,000	1,060,000
1年内返済予定の長期借入金	1,236,000	286,000
未払法人税等	11,778	14,420
賞与引当金	79,317	121,228
その他	614,795	552,104
流動負債合計	5,003,309	3,510,862
固定負債		
社債	721,000	567,000
長期借入金	669,000	1,796,000
再評価に係る繰延税金負債	797,601	814,611
退職給付引当金	902,184	948,265
役員退職慰労引当金	95,600	86,200
固定負債合計	3,185,385	4,212,076
負債合計	8,188,694	7,722,939

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,471,000	3,471,000
資本剰余金	3,250,140	3,250,140
利益剰余金	2,358,198	2,837,535
自己株式	△38,703	△37,729
株主資本合計	9,040,635	9,520,946
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△88,307	△63,165
繰延ヘッジ損益	164	△71
土地再評価差額金	△110,813	△85,761
評価・換算差額等合計	△198,957	△148,998
純資産合計	8,841,678	9,371,948
負債純資産合計	17,030,373	17,094,887

(2) 【四半期損益計算書】  
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	8,122,792	6,729,034
売上原価	6,320,137	5,585,876
売上総利益	1,802,655	1,143,158
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	361,499	343,259
役員退職慰労引当金繰入額	17,550	18,700
賞与引当金繰入額	22,548	22,393
退職給付費用	23,815	25,948
研究開発費	435,129	343,260
その他	763,271	657,522
販売費及び一般管理費合計	1,623,813	1,411,083
営業利益又は営業損失(△)	178,842	△267,924
営業外収益		
受取利息	2,783	1,279
受取配当金	33,685	35,570
雑収入	8,845	15,286
営業外収益合計	45,314	52,136
営業外費用		
支払利息	53,688	50,717
社債利息	10,508	8,526
雑損失	66,390	33,121
営業外費用合計	130,586	92,364
経常利益又は経常損失(△)	93,570	△308,153
特別利益		
投資有価証券売却益	10,000	—
ゴルフ会員権売却益	8,314	—
特別利益合計	18,314	—
特別損失		
固定資産売却損	—	7,302
固定資産除却損	67,615	18,474
特別損失合計	67,615	25,777
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	44,268	△333,930
法人税等	24,700	126,726
四半期純利益又は四半期純損失(△)	19,568	△460,657

## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	44,268	△333,930
減価償却費	938,540	674,602
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△241	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△84,990	△41,911
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	30,702	△46,080
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△53,350	9,400
固定資産売却損益 (△は益)	—	7,302
固定資産除却損	67,615	18,474
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	△8,314	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△10,000	—
受取利息及び受取配当金	△36,469	△36,849
雑収入	△8,845	△15,286
支払利息	64,196	59,243
社債発行費	20,580	—
雑損失	42,530	28,359
売上債権の増減額 (△は増加)	125,852	△428,785
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△78,214	△156,961
仕入債務の増減額 (△は減少)	△286,764	64,820
未払又は未収消費税等の増減額	△64,744	15,695
その他	15,829	49,073
小計	718,183	△132,832
利息及び配当金の受取額	36,970	37,526
利息の支払額	△59,334	△57,502
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△119,464	24,083
その他の支出	△29,400	△4,166
営業活動によるキャッシュ・フロー	546,953	△132,891
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	—	230,000
投資有価証券の売却による収入	110,000	—
有形固定資産の取得による支出	△435,992	△300,560
有形固定資産の売却による収入	—	39,267
有形固定資産の除却による支出	△7,331	△5,885
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	3,625	△75,082
投資活動によるキャッシュ・フロー	△329,698	△112,260

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	138,750	440,000
長期借入れによる収入	250,000	—
長期借入金の返済による支出	△109,000	△177,000
社債の発行による収入	729,419	242,979
社債の償還による支出	△920,000	△61,000
自己株式の取得による支出	△7,044	△973
配当金の支払額	△153,207	△44,089
財務活動によるキャッシュ・フロー	△71,083	399,915
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,918	△1,886
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	142,253	152,877
現金及び現金同等物の期首残高	189,088	170,957
現金及び現金同等物の四半期末残高	331,342	323,834

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

## 6. その他の情報

## (1) 生産実績

種別	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
	金額(千円)	金額(千円)
たばこの香料および同材料関係	338,068	—
医薬品関係・食品添加物関係	5,124,634	3,372,041
工業薬品その他	3,015,717	3,465,485
合計	8,478,419	6,837,526

- (注) 1 金額は販売価格によっております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3 医薬品関係・食品添加物関係については、両方に使用される製品があるため生産実績では一括して表示しております。  
 4 たばこの香料および同材料関係については、当第1四半期累計期間から工業薬品その他に含めて表示しております。(当第3四半期累計期間実績 金額43,140千円)  
 工業薬品その他について、たばこの香料及び同材料関係を除いた当第3四半期累計期間の実績は、3,422,345千円です。

## (2) 受注状況

当社は受注による生産は僅かであり、主として見込み生産によっておりますので、受注ならびに受注残について、特に記載すべき事項はありません。

## (3) 販売実績

種別	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
	金額(千円)	金額(千円)
たばこの香料および同材料関係	351,061	—
医薬品関係	2,747,725	2,379,790
食品添加物関係	1,694,605	1,322,653
工業薬品その他	3,329,400	3,026,590
合計	8,122,792	6,729,034

- (注) 1 たばこの香料および同材料関係については、当第1四半期累計期間から工業薬品その他に含めて表示しております。(当第3四半期累計期間実績 30,009千円)  
 工業薬品その他について、たばこの香料及び同材料関係を除いた当第3四半期累計期間の実績は、2,996,581千円です。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

- 3 主要な輸出先及び輸出販売高及び割合は、次のとおりであります。( )内は総販売実績に対する輸出高の割合であります。

輸出先	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	
	販売金額(千円)	割合(%)	販売金額(千円)	割合(%)
アジア	1,007,705	35.5	931,095	38.4
ヨーロッパ	956,108	33.7	746,708	30.8
北アメリカ	671,257	23.7	613,759	25.3
その他	200,663	7.1	133,261	5.5
計	2,835,734 (34.9%)	100.0	2,424,824 (36.0%)	100.0

- 4 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
住友化学㈱	1,122,384	13.8	—	—

※1 当第3四半期累計期間の住友化学㈱の販売高は664,674千円、割合は9.9%となっております。

※2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。